

第59回 発電用設備規格委員会 議事録

1. 日 時：2011年12月12日（月） 10:00～17:30
2. 場 所：日本機械学会 第1会議室
3. 出席者：①森下（JAEA）、②宮口（IHI）、③波木井（東電）、④湯原（東大）、⑤鈴木（JAEA）、⑥伊勢田（住友金属）、⑧西脇（東大）、⑩吉田（発電技検）、⑪高橋（電中研）、⑫楠橋（JSW）、⑬寺井（東大）、⑮永井（東芝）、⑯酒井（東大）、⑰影山（東大）、⑱加口（MHI）、⑲森（JEA）、⑳村部（原電）、㉑西田（関電）、㉒船橋（火原協）、㉔伊藤（原技協）、㉕大崎（JNES）、㉗浜田（東電）、㉘牧（NISA）、㉚小山（原専委員長）、木村（NIMS）

代理者：三好（川重）「⑦島川（川重）」、山田（中電）「⑭鈴木（中電）」、永田（日立GE）「㉓川畑（日立GE）」、堂崎（原電）「㉒村部（原電）」（PMのみ）、浅山（JAEA）「④湯原（東大）」（PMのみ）

欠席者：⑨川端（HSBジャパン）、㉙舟木（エネ庁）、㉛増山（材専委員長）

オブザーバー：杉江（原技協）、堂崎（原電）、浅山（JAEA）、北条（MHI）、樺田（MHI）、飯田（東電）、中野（MHI）、柴山（MHI）、関（MHI）、藤野（関電）、野村（関電）、齋藤（東芝）、高坂（JNFL）、平（JNFL）、加納（JNFL）、澄川（日立アイシーシー）

*名前の①～㉚は発電用設備規格委員会委員名簿のNO.による。

事務局：高柳、海野、釜田、薄井

4. 配布資料：（細かい資料をこれから記載します）
- 59-1：第58回発電用設備規格委員会議事録（案）
- 59-2：発電用設備規格委員会名簿案
- 59-3：各専門委員会名簿案
- 59-4：発電用設備規格委員会幹事会報告
- 59-5：書面投票結果
- 59-6：公衆審査結果と質問受付回答状況
- 59-7：火力専門委員会報告
- 59-8：原子力専門委員会報告
- 59-9：核融合専門委員会報告
- 59-10：材料専門委員会報告
- 59-11-1：外的事象起因の過酷事故対象設計ガイドライン（策定進捗報告）
- 59-11-1-1：外部事象シビアアクシデント対応ガイドライン検討タスク状況報告
- 59-11-1-2：副島の省察 ICONE19 大阪 ニール・ディアス博士
- 59-11-1-3：ASME STG Review Comments and JSME Responses
- 59-11-1-4：原子力専門委員会「ご意見伺い」投票コメント
- 59-11-1-5：外部事象起因の過酷事故対策設計ガイドライン（BWR 編）に対する日立殿コメント&回答案 DRAFT
- 59-11-1-6：JSME-ASME Presidential Task Meeting について（メモ）
- 59-11-2-1：過酷事故時構造健全性評価タスク設立趣意書
- 59-11-2-2：過酷事故対応の構造設計基準策定提案
- 59-11-3-1：SDO Code Comparison Project Mtg / MDEP CSWG 出席報告
- 59-11-3-2：MDEP 規格整備方針検討タスクについて（報告）
- 59-11-3-3：MDEP 成果反映方針検討タスク概要（報告）
- 59-11-4-1：東日本大震災に関する日本機械学会の最近までの活動
- 59-11-4-2：東日本大震災調査・提言分科会 WG6（原子力）活動経過報告
- 59-11-5：当面の事務局運営について（報告）
- 59-11-6：臨時拡大規格委員会開催提案（提案）

- 59-11-7：IT化計画（案）及び2012年度予算（案）
- 59-11-8：運営・企画委員会（報告）
- 59-11-9：オンデマンド印刷導入について
- 59-11-10：一般要求事項検討タスクについて（報告・提案）
- 59-12：発電用火力設備規格に関する審議
- 59-12-1：発電用火力設備規格 基本規定（案） 意見対応審議経緯
- 59-12-2：発電用火力設備規格 詳細規定（案） 構造分科会関連 意見対応審議経緯
- 59-12-3：発電用火力設備規格 基本規定（案） 意見対応審議経緯
- 59-13-1-1：使用済燃料貯蔵施設規格 金属キャスク構造規格 審議項目
- 59-13-1-2：使用済燃料貯蔵施設規格 事例規格 溶接部の機械試験に関する代替規定
- 59-13-1-3：事例規格 溶接部の機械試験に関する代替規定 牧委員からの追加意見等対応状況について
- 59-13-1-4：使用済燃料貯蔵施設規格 金属キャスク構造規格（案）
- 59-13-1-5：使用済燃料輸送容器および貯蔵容器における溶接部機械試験結果について
- 59-13-1-6：溶接部の機械試験に関する代替規定（案）
- 59-14：設計・建設規格第Ⅱ編高速炉規格2011年追補案について
- 59-15：コンクリート製格納容器規格（2011年度版）事例規格 材料規格、設計規格及び溶接規格の読替規定（案）に対する意見受付計画（案）
- 59-16：維持規格分科会関係 審議項目
- 59-16-1：維持規格提案（改訂）FSI-04-22
- 59-16-2：維持規格提案（改訂）FSI-04-22 No. 1-2, 1-4
- 59-16-3：維持規格提案（新規）FSI-04-22 No. 1-10
- 59-16-4：維持規格提案（改訂）FSI-04-22 No. 1-3
- 59-16-5：維持規格提案（新規）FSE-10-04
- 59-16-6：維持規格提案（改訂）FSR-09-05
- 59-16-7：維持規格（JSME S NA1-2008）2011年追補版 公衆審査意見への回答（改訂版）
- 59-17-1：再処理設備規格「溶接規格（2011年版）」初版への書面投票等の実施状況について
- 59-17-2：再処理設備規格「設計規格（2010年版）」改訂に係わる書面投票の実施依頼について
- 59-17-3：再処理設備規格「維持規格（2012年版）」初版発行に係わる書面投票の実施依頼
- 59-18-1：溶接規格（新規）提案 W09-15
- 59-18-2：溶接規格（改訂）提案 W08-05
- 59-18-3：溶接規格改訂（案）規格委員会書面投票提案 提案項目一覧
- 59-18-4：溶接規格（2007年改訂版）事例規格 母材のP-No区分（案）に対する意見受付計画（案）
- 59-19-1：設計・建設規格 第Ⅰ編 2011年追補版編集上の修正提案
- 59-19-2：設計・建設規格 第Ⅰ編 2008年版（2010年追補版まで含む）正誤表提案
- 59-19-3-1：設計・建設規格 第Ⅰ編 2012年改訂版改訂案について（提案）
- 59-19-3-2：設計・建設規格 2012年改訂版改訂案 原子力専門委員会コメントおよび対応案一覧
- 59-19-4-1：設計・建設規格 第Ⅰ編 2012年改訂版追加改訂案について（提案）
- 59-20-1：JSME 発電用原子力設備規格 材料規格（2008年版）（JSME S NJ1-2008）正誤表
- 59-20-2：JSME 発電用原子力設備規格 材料規格（2011年版）（JSME S NJ1-2011）正誤表
- 59-21：ASME 規格関係委員会の活動状況報告

5. 議事内容

（1）開会

定足数の確保を確認し、森下委員長が委員会開会を宣言した。また出席者全員の自己紹介を行った。

（2）議事次第確認

議事次第案の確認を行い、変更の提案はなく承認された。

（3）前回議事録確認【資料 59-1】

前回議事録案の内容について意見、気付き事項の確認を行った結果、意見等はなく、議事録案は承認された。

(4) 規格委員会及び専門委員会の委員の承認等【資料 59-2-1~2. 資料 59-3-1~8】

以下の通り規格委員会及び専門委員会委員の再任、退任、新任、三役候補が報告され、オブザーバー／事務局退出後、委員の承認等が審議され、出席委員全員の賛成で承認された。

規格委員会

〔委員長再任〕 森下規格委員会委員長

〔退任〕 木村火力専門委員長

〔新任〕 小溝新火力専門委員長

火力専門委員会

〔委員長新任〕 小溝火力専門委員長

〔再任〕 木村委員 (NIMS)、松本委員 (東芝)

〔退任〕 西口委員 (神奈川工科大学)

原子力専門委員会

〔委員長再任〕 小山原子力専門委員長

〔再任〕 小山委員 (MHI)、三木委員 (富士電機)、国則委員 (電気協会)

〔退任〕 吉田委員 (発電技検)、船田委員 (JNES)

〔新任〕 佐藤氏 (発電技検)、菊池氏 (JNES)

核融合専門委員会

〔再任〕 該当無し

〔退任〕 該当無し

〔新任〕 該当無し

材料専門委員会

〔再任〕 該当無し

〔退任〕 該当無し

〔新任〕 該当無し

(5) 発電用設備規格委員会活動状況報告

(5-1) 規格委員会幹事会報告【資料 59-4-1~2】

波木井規格委員会幹事より、第 34 回、第 35 回の規格委員会幹事会概要として、(1)過酷事故対策に関するステークホルダーとの意見交換、(2)MDEP 状況報告、(3)日中原子力規格基準対話、(4)審議要領及び運営規約の改定、(5)JNES からの事務局派遣交替要員、(6)技術評価について、(7)シビアアクシデントガイドライン関係、(8)臨時拡大規格委員会開催の件、等について討議を行ったことが報告された。

(5-2) 投票結果報告【資料 59-5】

事務局より規格委員会と各専門委員会の書面投票結果について報告が行われた。

(5-3) 公衆審査結果及び質問受付回答状況【資料 59-6】

事務局より発電用原子力設備規格に関する公衆審査結果と質問受付回答状況について報告が行われた。質問回答は原子力専門委員会で承認済み、質問者に回答済みである。

(5-4) 火力専門委員会報告【資料 59-7】

木村火力専門委員会前委員長より、火力専門委員会の活動状況の以下の報告が行われた。

火力専門委員会委員長選任結果報告。書面投票結果の報告。

(5-5) 原子力専門委員会報告【資料 59-8】

小山原子力専門委員会委員長より、原子力専門委員会の活動状況として、

① J N E S による技術評価対応ガイドライン、②書面投票結果に関する審議計画表ロードマップ、③各分会

活動状況等が報告された。①及び②については内容を確認していただき、1月15日までに小山委員長（又は事務局）に意見を連絡することとなった。

（5－6）核融合専門委員会報告【資料 59-9】

高橋核融合専門委員会委員長より、核融合専門委員会の活動状況報告及び今後の活動計画について説明が行われた。活動状況説明として、①フルオーステナイトの溶接材料（FMYJJ1）の割れ防止化学成分検討中や厚板試験の義務化、②溶金内超音波試験方法検討の件、③ラジアルプレート拡散接合実用化規格案の検討の件、等の報告があった。

（5－7）材料専門委員会報告【資料 59-10】

高橋材料専門委員会副委員長より、材料専門委員会活動状況説明として、①専門委員書面投票結果、②金属バスケット用新規材料の規格化レビューについて、③材料事象の解説、④高温での Su 値の求め方、等の報告が行われた。

（6）発電用設備規格委員会運営に関する審議／報告

（6－1）外的事象起因の過酷事故対象設計ガイドライン（策定進捗報告、）【資料 59-11-1-1～6】

宮口副委員長より、外部事象シビアアクシデント対応ガイドライン検討タスク状況報告、タスク外との意見交換等の実施状況の報告、3学協会による SA 関連規格・基準整備 MAP の検討・調整の状況等が報告された。また ICONE 19 大阪でのニール・ディアス博士（元 NRC 委員長）の講演「福島省察」の訳文の紹介等が行われた。

（6－2）RPV/PCV の構造健全性及び耐漏えい性評価に係わる G L 作成タスク（設置提案）【資料 59-11-2-1～2】

永田原子力専門委員会副委員長より、過酷事故時構造健全性検討タスクの設立趣意書について説明があり、設置提案があり、挙手による採決の結果、出席者全員の賛成により承認された。

（6－3）MDEP-Code Comparison Project への参加【資料 59-11-3-1～3】

森下委員長より MDEP 出張報告の紹介が行われた。SDO はこれまでクラス 1 機器の設計規格の比較を行い報告書がまとまり、CSWG 及び CORDEL に開示した。次のステップとして各国規格の convergence and precluding further divergence を目的とした活動をたちあげることが SDO 間で合意された。具体的には SDO Convergence Board を形成し、ここで MDEP や CODEL と協調しながら SDO 自身の活動として各国規格の整合化を目指すものである等の報告が行われた。

（6－4）規格整備方針検討タスクについて【資料 59-11-3-2】

宮口副委員長より、規格整備方針検討タスクについての報告が行われた。

規格整備方針検討タスクは MDEP で抽出された個々の相違点の長期課題及び短期課題への仕分けを行い、「成果反映方針タスク」へのインプットを明確化することを当面のミッションとして 2011 年 1 月スタートしたが、震災により動きが滞っていた。しかし、成果反映方針タスクのスタートに間に合わせるべく、仕分けの整理及びまとめを行ない、その成果を反映方針タスクに報告した。今後の活動は、停止はしないがスローダウンする。

（6－5）成果反映方針タスクについて【資料 59-11-3-3】

小山原専委員長より、成果反映方針検討タスクについて（報告）説明が行われた。

タスク設置の概要、設置目的、対象機器等の説明があり、規格委員会内の規格整備方針タスクで仕分けした「短期課題」に関して、評価を行い、規格への取り込みの要否や、「要」の場合はその方針を決めることをミッションとしている。また今後の予定が紹介され、タスクの最初の成果物は 1 年位を目標としたいとの報告が行われた。但し、作業ボリュームや規格にすぐ結び付けられるかどうかは検討中であり、タスク設置は承認されているものの具体的なメンバー選定等は未であり、活動は未着手である。

（6－6）機械学会の震災対応について【資料 59-11-4-1】

森下委員長より、東日本地震災に関する日本機械学会の最近までの活動が報告された。

7つの分野での調査が進められており、規格委員会委員が主に担当しているのが「(WG6) 原子力」であるが、他の関係先としてはソフトウェアである「(WG5) 火力、原子力、現地調査」等がある。
JSME 誌6月号に活動状況が掲載予定。

(6-7) 当面の事務局【資料 59-11-5】

波木井幹事より現状の事務局状況の説明が行われた。事務局員の当面の減数が避けられないことから、委員各位には事務局負担を極力減らすように協力願いたい、との要請があった。

(6-8) 臨時拡大規格委員会開催提案【資料 59-11-6】

波木井幹事より下記日程における「臨時拡大規格委員会」開催提案の説明が行われ、参加者全員の賛成により開催が承認された。同臨時拡大規格委員会はシビアアクシデント対応を含み、福島事故の規格・基準への反映について討議を行うことを目的とする。

日時：2012年1月24日（火）13:30～17:00

会場：日本機械学会 第1第2会議室

(6-9) IT化計画（案）及び2012年度予算（案）【資料 59-11-7】

事務局からHPのネットコモン利用による、書類の共有化し、ホルダー形式等IT化設置が紹介、2012年夏時期から実運用することで承認された。また来年目標予算案を説明し承認された。

（賛成人25/25人中、反対0人、保留0人）。

(6-10) 運営・企画委員会（報告）【資料 59-11-8】

事務局より発電規格審議進捗の報告があった。

(6-11) オンデマンド印刷導入について【資料 59-11-9】

J SME 出版販売グループ仲野氏より、オンデマンド印刷導入について説明が行われた。

(6-12) 一般要求事項検討タスクについて（報告・提案）【資料 59-11-10】

宮口副委員長より、一般要求事項検討タスクについて以下の報告及び提案が行われた。

一般要求事項検討タスクによる民間認証・認定に関する検討は3/11以降、中断していたが、事業者の自主的取り組みとして行いたいとの要望が聞かれるようになってきたため、タスクを再開して「一般要求事項」章及び「品質要求事項」章の早期の事例規格化へ向けた検討を再開するとの報告がなされた。また、第56回規格委員会（2011/3/10）で承認された提案からの修正として、認証・認定分科会は当面再開せず、規格案の策定・制定までタスクにて担当する（その後タスクを分科会に改組して規格メンテナンスを担当する）ことが提案され、参加者全員の賛成で承認された。（賛成人25/25人中、反対0人、保留0人）。

(7) 発電規格に関する審議／発電用火力設備規格に関する審議

(7-1) 火力設備規格に関する審議【資料 59-12-1～4】

木村委員長（火力専門委員会）、飯田委員（構造分科会主査）、樺田委員（溶接分科会副主査）より規格委員会書面投票への意見対応について以下の4件について、書面投票で付された反対・保留・参考意見への対応状況について説明があり、審議された。

① No. 177 書面投票（基本規定案）意見対応（案）【資料 59-12-1】

② No. 178 書面投票（詳細規定案構造分科会関連）意見対応（案）【資料 59-12-2】

③ No. 179 書面投票（詳細規定案溶接分科会関連）意見対応（案）【資料 59-12-3】

以上の2次投票は可決されているが、その意見対応としての編集上の修正案が提案された。審議の結果、編集上の修正として提案が承認された。（賛成23人/反対1人/保留2人/26人中）。

④ No. 167 書面投票（詳細規定案材料分科会関連）意見対応（案）【資料 59-12-4】

前回（第58回）規格委員会にて再投票とすることが決議されており、現在火力専門委員会にて再投票を実施しているが、前回の意見対応から更なる意見対応を行い、意見付記委員からの了承を得ていることが、報告された。審議の結果、その意見対応を含め、火力専門委員会での再投票が可決後、規格委員会での再投票に進むことが承認された。（賛成26人/26人中）

（8）発電規格に関する審議／原子力発電規格に関する審議

（8-1）使用済燃料貯蔵施設規格に関する審議【資料 59-13-1-1~6】

使用済燃料貯蔵施設分科会の阪田委員より金属キャスク構造規格 事例規格「溶接部の機械試験に関する代替規定案」の規格委員会書面投票結果（反対票有り）に関するコメント回答案について説明が行われた。議論の結果、反対票に対する回答案の継続検討を行うこととなり、今回は中間報告の位置付けとなった。

また「規定内容の緩和の方向でもあり、極端な規格解釈により品質の安定に疑義が生じる運用がされないよう留意して議論を進めて頂きたい」との意見があった。また「更なる技術データの積み重ねも進めて頂きたい」との意見があった。加えて「溶接分科会と相談すること」との提案もあったが、原専委員会にて対応方法の検討を行うことになった。

（8-2）高温規格に関する審議【資料 59-14】

高温規格分科会の浅山主査より設計・建設規格第Ⅱ編2011年追補版案の今後の対応について説明が行われた。現在公衆審査を実施中であり、公衆審査でコメントが出なかった場合、2011年追補版としての発行を行いたい旨説明が行われ、議論の結果、委員全員の賛成により承認された。

（8-3）コンクリート製格納容器規格に関する審議【資料 59-15】

コンクリート製原子炉格納容器規格（2011年版）の材料規格、設計・建設規格及び溶接規格の読替事例規格案の規格委員会書面投票結果（可決：意見なし）及び公衆審査計画案に関する説明が行われた。議論の結果、公衆審査を実施することが委員全員の賛成により承認された。

（8-4）維持規格に関する審議【資料 59-16-1~7】

維持規格分科会の野村主査、齋藤副主査、検査作業会の柴山幹事三菱重工 関殿、補修作業会の山本主査、中野幹事より維持規格改訂案に関する説明が行われた。内容は以下の通り。

①検査間隔7年に変わった後の試験【資料 59-16-1】

規格委員会二次投票（可決）のコメント回答案に関する説明が行われた議論の結果、定点サンプリングの定義については本提案の成立とは別に継続して議論すること、今後維持規格2012年改訂案として公衆審査を実施することが委員全員の賛成により承認された。

②95℃を超える系統の支持構造物の補修後の供用前検査【資料 59-16-2】

規格委員会二次投票（可決）のコメント回答案に関する説明が行われた。議論の結果、回答案が編集上の修正であること、今後維持規格2012年改訂案として公衆審査を実施することが委員全員の賛成により承認された。

③第2回目以降の検査間隔における試験順序【資料 59-16-3】

規格委員会書面投票（可決）のコメント回答案に関する説明が行われた。議論の結果、回答案が編集上の修正であること、今後維持規格2012年改訂案として公衆審査を実施することが委員全員の賛成により承認された。

④建設中の供用前検査実施時期【資料 59-16-4】

規格委員会書面投票（反対票有り）のコメント回答案に関する説明が行われた。議論の結果、反対票は取り下げられて可決となり、回答案が編集上の修正であること、今後維持規格2012年改訂案として公衆審査を実施することが委員全員の賛成により承認された。なお回答案において宮口副委員長の指摘内容を準用している箇所の記載が適切でないとの意見があり、記載の適正化を行うことになった。

⑤【事例規格】ニッケル基金合金大気中疲労き裂進展速度線図【資料 59-16-5】

規格委員会書面投票（反対票有り）のコメント回答案に関する説明が行われた。議論の結果、反対票は取り下げられて可決となり、公衆審査を実施することが委員全員の賛成により承認された。なお、補足説明として追加検討した疲労き裂進展評価例は、技術的知見として何らかの形（ノート投稿等）で残すことを検討することになった。

⑥テンパービード溶接工法改訂【資料 59-16-6】

規格委員会書面投票の実施が提案され、委員全員の賛成により承認された。

⑦維持規格 2011 年追補版案公衆審査意見対応【資料 59-16-7】

第 58 回規格委員会でのコメントを受け、回答案の修文が規格委員会三役預かりとなっていたが、その後、規格委員会三役及び小山原子力専門委員会委員長の間で調整された回答案の報告が行われた。議論の結果、回答案が妥当であること、本案をホームページにアップすることが委員全員の賛成により確認された。

（８－５）再処理設備規格に関する審議【資料 59-17-1~3】

再処理設備分科会の澄川主査より、再処理設備規格案に関する説明が行われた。内容は以下の通り。

①再処理設備規格 溶接規格【資料 59-17-1】

規格委員会書面投票（可決）のコメント回答案は次回審議する旨、説明が行われた。

②再処理設備規格 設計規格【資料 59-17-2】

規格委員会書面投票の実施が提案され、委員全員の賛成により承認された。

③再処理設備規格 維持規格【資料 59-17-3】

原子力専門委員会の再投票が承認され次第、との条件付きでの規格委員会書面投票の実施が提案され、委員全員の賛成により承認された。

（８－６）溶接規格に関する審議【資料 59-18-1~3】

溶接分科会の杉江幹事より、溶接規格改訂案に関する説明が行われた。内容は以下の通り。

①事例規格母材の P-N0 区分案【資料 59-18-1】

規格委員会再書面投票（可決）のコメント回答案に関する説明が行われた。議論の結果、回答案が妥当であること、公衆審査を実施することが委員全員の賛成により承認された。

②溶接後熱処理の方法及び解説の見直し【資料 59-18-2】

規格委員会書面投票（反対票有り）のコメント回答案に関する説明が行われた。議論の結果、反対票は保留票に変更となり投票は可決された。また、対応案が編集上の修正であることが委員全員の賛成により承認された。

③溶接規格 改訂案【資料 59-18-3】

規格委員会書面投票の実施が提案され、議論の結果、以下の通り書面投票を実施することが承認された。

- ・NO. 2~NO. 7 は既に原子力専門委員会書面投票で可決されたが、NO. 8 が現在投票中であるため、NO. 8 の可決を待ってまとめて書面投票を実施する。
- ・NO. 1 は、書面投票を実施せずに、付番の取り方等、ベースになるルールを次回規格委員会迄に確認の上、編集上の修正扱いで規格改訂（案）に反映する。

（８－７）設計・建設規格に関する審議【資料 59-19-1~4】

設計・建設分科会の永田主査より設計・建設規格第Ⅰ編改訂案に関する説明が行われた。内容は以下の通り。

①2011 年追補版【資料 59-19-1】

2011 年追補版出版用原稿に誤記が確認されたため、その内容に関する説明が行われた。議論の結果、対応案が編集上の修正であることが委員全員の賛成により承認された。

②2008 年版（2010 年追補版まで含む）に対する正誤表発行提案【資料 59-19-2】

2008 年版（2010 年追補版まで含む）の誤記訂正に関する説明が行われた。議論の結果、対応案が編集上の修正であり正誤表を発行することが委員全員の賛成により承認された。

③2012 年版改訂案【資料 59-19-3】

2012 年版改訂案に関する説明が行われた。改訂提案のうち、NO. 3 以外は原子力専門委員会書面投票で可決となったが、NO. 3 は反対票が取り下げられないため、今回の提案からは取り下げることが報告された。議論の結果、書面投票を実施することが委員全員の賛成により承認された。

④2012 年版改訂案追加提案【資料 59-19-4】

2012 年版改訂案追加提案に関する説明が行われた。現在原子力専門委員会書面投票実施中であり、原子力専門委員会書面投票可決を条件に書面投票を実施することが委員全員の賛成により承認された。

（8－8）材料規格に関する審議【資料 59-20-1～2】

材料分科会山田主査より材料規格の誤記訂正に関する説明が行われた。議論の結果、対応案が編集上の修正であることが委員全員の賛成により承認された。

（9）関連機関状況報告【資料 59-21】

伊藤委員（原技協）より、ASME 規格関係委員会の活動状況報告について説明が行われた。

（10）次回開催予定

今後の発電用設備規格委員会の開催時期は以下の通りとなった。

- ・ 第 60 回規格委員会：3 月 6 日（火）

以上